

実証事業の概要

1. 事業概要

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、今後、再エネの普及が見込まれるなか、電力システムの柔軟性のさらなる向上が必要である。その課題に対し、需要家に設置される分散型エネルギーリソース（DER）を最大限活用することが期待されており、これらDERを監視・制御する環境を整備するため、次世代スマートメーターを活用した通信ルート構築の技術検証を3社協働で実施する。

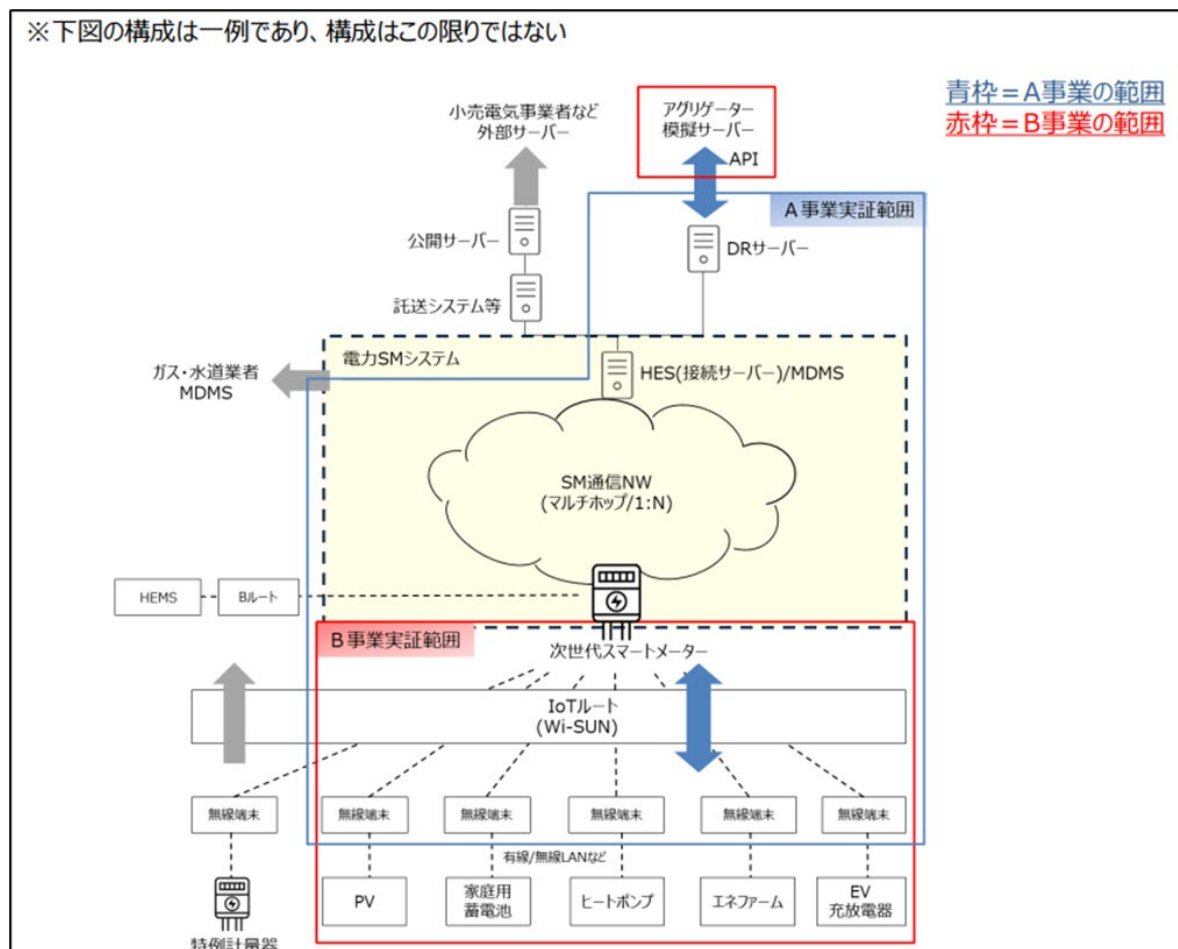
2. 実証期間

2025年7月10日 ～ 2026年2月12日（事業完了期限）

3. 実証内容

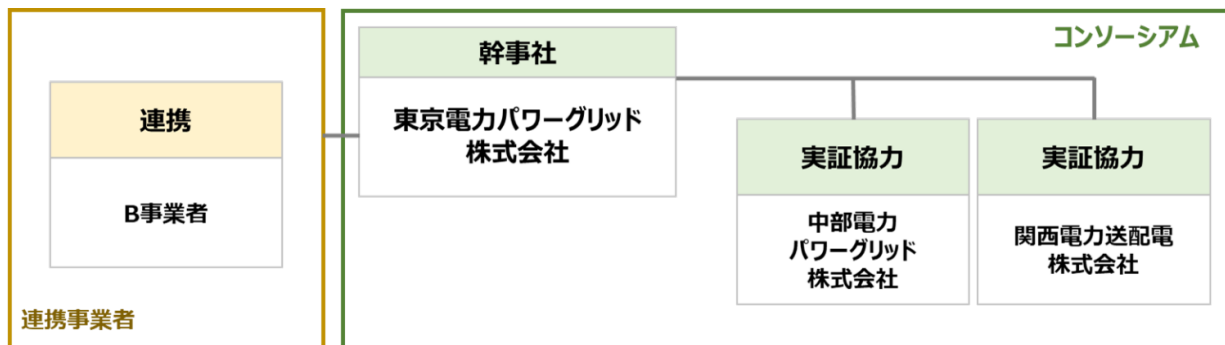
- ・DRサーバー、無線端末のプロトタイプの開発
- ・技術面および運用面の課題の洗い出しと対策の検討
- ・小売事業者、アグリゲーター等へのサービス許容度の検証

今回採択された事業は、下図、A事業の範囲 ※下図は公募要領より抜粋



(参考：スマートメーターを活用したディマンドリスポンス実証事業 公募要領)

4. 実証体制



5. 各社の役割

東京電力パワーグリッド株式会社 (コンソーシアムリーダー)	<ul style="list-style-type: none"> DR サーバーの要件定義、開発 無線端末の要件定義、開発 DR サーバー・無線端末の動作環境構築、検証 システムセキュリティ検証 ユースケースおよび仕様検討
中部電力パワーグリッド株式会社 (コンソーシアムメンバー)	<ul style="list-style-type: none"> DR サーバーの要件定義検証 無線端末の要件定義、開発 無線端末の動作確認、検証 ユースケースおよび仕様検討
関西電力送配電株式会社 (コンソーシアムメンバー)	<ul style="list-style-type: none"> ユースケースおよび仕様検討 上記検討に関する関連企業・業界団体との協議

以 上